



三次中央会報 ロータリークラブ

2013-2014 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://www15.ocn.ne.jp/~m-c-rc/

例会場/広島県三次市十日市南 1-5-5
グランラッセレ三次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/高野 隆行

幹事/小根森 椋水

●2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ



●2013~2014年度 三次中央RCスローガン
思いやりの心で未来を築こう



子鹿医療療育センター 交流会

2013/10/19

■開会挨拶

高野会長

会長挨拶



皆さん、おはようございます。

さて、三次中央ロータリークラブでは、この度、未来の夢計画に伴うロータリー財団を通じた人道的奉仕活動の一環として、社会福祉法人ともえ会「子鹿医療療育センター」への支援を計画させていただきました。

三次中央ロータリークラブでは、去る7月29日のクラブ例会に淀川良夫センター長をゲスト講師としてお招きし、勉強会を開催いたしました。

「子鹿医療療育センター」の通所支援事業「児童発達支援事業所パンピ」は昨年4月に発足したばかりなので、遊具数が少なく、通所の児童の皆さんがみんなですべて遊べる状況にないことを知り、子どもさんたちが遊べる遊具セット(ブランコが付いた滑り台)を寄贈させていただくことに致しました。

本日は施設見学もさせていただき、また、子どもさんと一緒に施設の庭に「希望の花」と呼ばれている「スイセン」の球根を植えるなどの交流会をさせていただければと願っております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



センター長
淀川良夫様

支援課長
河村活好様

支援部長
武村精一様



施設内を案内していただきました



外観見学、バンビについて説明していただきました



いよいよ除幕式



スイセンの球根を植えました



来年の春にはきれいな花を咲かせてくれることでしょう



希望の花、スイセンについて

三次中央ロータリークラブ
会長 高野 隆行

18年前の阪神大震災の被災地でのことでもあります。発生から2週間後の1月末、天皇陛下と一緒に神戸市内の市場跡に行かれた美智子皇后さまが皇居の庭に咲いていた黄色いスイセンを摘んでがれきの上に手向けられました。

そのスイセンの記憶を、日本国民の多くは2011年3月の東日本大震災で新たに致しました。4月に両陛下が訪問された宮城県内の避難所で、1人の女性がスイセンを花束にして待ちました。津波でさらわれた自宅跡に例年通り咲いたといいます。64歳のその女性が「この花のように頑張ります。」と差し出した花束を、美智子皇后さまは「頂戴できますか」と受け取り、抱くようにして東京に戻られました。

西と東の大震災が「スイセン」を「希望の花」にしたのであります。



お礼のことば

子鹿医療療育センター センター長 淀川良夫

子鹿医療療育センター(旧 子鹿学園)は昨年4月にここ(三次市粟屋町1664番地)に新築移転しました。そして、同時に児童発達支援事業所「バンビ」を開所しました。「バンビ」は三次市をはじめ、県北地域の在宅の発達障害や発達に課題のあるお子さんに通ってきていただいて、集団でいろいろな療育活動をしていくなかでお一人お一人の発達を支援していくもので、現在、3歳から小学校4年生までのお子さん26人が通われてきています。

近年、この県北でも発達障害や発達に課題のある児童は増えてきており、地域から「バンビ」に寄せられる期待にはとても大きなものがあると感じています。しかし、事業を開始してまだ1年余りで、人材の育成や器材の整備などが十分

ではなく、その大きな期待にしっかり応えられるだけの活動ができていないのが現状です。

こうしたなかでこのたび三次中央ロータリークラブ様が私どもの「バンビ」の活動に目を留めてくださり、不足していた屋外遊具とスイセンの球根と花壇を寄贈していただいたのは、大変ありがたいことで、私たちにとって大きな励みになります。

今後、「バンビ」に通う子どもたちに寄贈していただいた屋外遊具で楽しく遊んでもらったり、早春に咲くスイセンの花を観賞してもらったりなどして、療育活動のなかで大いに活用させていただこうと思っています。これからも「バンビ」の活動に引き続きご支援、ご協力をお願いするとともに、センターを代表して心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

遊具の組み立て ご苦労様でした。

…Special thanks… 高野会長、松本会員、箕田会員、瀧本会員、杉谷会員



支援事業について

三次中央ロータリークラブでは、その年ごとに地域に密着した奉仕活動を全員参加で実施しております。今年度のメインである社会奉仕プロジェクトは、昨年4月に新築移転された三次市の社会福祉法人ともえ会「子鹿医療療育センター」への支援活動を実施することとなりました。

きっかけとなりましたのは、市の広報誌等で施設の移転と同時に開設された発達に課題のある子どもを対象とした通所事業所「バンピ」を知ったことからです。私たちロータリアンで何か支援できることはないかと、昨年11月、会長と同セン

ターを訪問し、現況の説明を受けました。その後、数回にわたり訪問し、センター長や職員の方と協議して、遊具セット「ブランコの付いた滑り台」の寄贈、花壇にスイセンの球根を植えるなどの交流会を計画しました。このことによって入所、および通所している子どもたちの楽しく潤いのある生活に貢献できるものと思われま

す。なお、このプロジェクトは、ロータリー財団地区補助金の助成を受けております。

今後の交流としまして、「バンピ」に通所している子どもたちと、この度植えたスイセンの育成を見守りながら、花一杯の施設になればと願っております。

社会奉仕委員長 松本章治



三次中央ロータリークラブが寄贈したブランコ付き滑り台

センターにブランコ付き滑り台を寄贈した。

プラスチック製で高さ2m、幅4m。ブランコは2基ある。昨年4月にオープンしたセンターに遊具がないことから、RCの会費など30万円でセンターの広場に設けた。RCの高野隆行会長(71)と淀川良夫センター長(59)たちが除幕。早速遊ぶ子どももいた。

高野会長は「通所する子どもの健やかな成長につなげてほしい」と話していた。

三次中央RCが施設に遊具寄贈

三次市の三次中央ロータリークラブ(RC)は、同市粟屋町の社会福祉法人ともえ会が運営する「子鹿医療療育

2013年10月24日(木)中国新聞県北版に掲載されました。

子鹿だより

第174号 平成25年11月発行
発行：子鹿医療療育センター
〒739-805
広島県三次市粟屋町1504番地
TEL: 0834-82-1111 FAX: 0834-82-1103
E-mail: kojikaf@stnet.ne.jp

←「子鹿だより」で紹介していただきました。

屋外遊具を寄贈していただきました



10月19日(土)、三次中央ロータリークラブ様より寄贈頂いた屋外遊具の除幕式とスイセンの植えつけを行いました。新聞社やTV局の取材もあって、職員は緊張していましたが、子ども達はなんのその。さっそくブランコや滑り台で楽しんでいました。これからスイセンが育つ過程を見たり、みんなでしっかり遊ぶ事で、豊かな気持ちが育って行く事と思います。【保育士 光實 有記】

三次中央ロータリークラブ
社会奉仕委員会

委員長 松本章治
委員 石田光雄
委員 箕田英紀
委員 中島清祐